

問1 奈良時代に、多くの民衆の協力をあつめて大仏づくりに大きく貢献した僧侶はだれでしょう。

1. 聖徳太子 2. 行基 3. 最澄 4. 鑑真

問2 平安時代の貴族のやしきで、びょうぶやふすまに日本の自然を題材にしてえがかれた絵を何といいますか。

1. 水墨画 2. 大和絵 3. 浮世絵 4. 肖像画

問3 聖武天皇が、全国の国ごとに「国分寺」を建てるよう命じた一番の目的は何ですか。

1. 大きな都を作るための労働力を集めるため 2. 他の国との貿易を盛んにするため 3. 新しい漢字や文化を広めるため 4. 仏教の力で国を安定させるため

問4 青森県で発見された、縄文時代の建物の跡がのこる有名な遺跡はどれですか。

1. 岩宿遺跡 2. 吉野ヶ里遺跡 3. 三内丸山遺跡 4. 登呂遺跡

問5 聖徳太子が小野妹子らを遣隋使として中国に送ったのは、どのような目的のためですか。

1. 中国に日本の仏像や寺を売りこむため 2. 中国と戦争をして領土を広げるため 3. 中国の文化や学問、政治のしくみを取り入れるため 4. 中国から米や麦などの食べ物を輸入するため

問6 土地や用水をめぐるむらどうしの争いの中で、強い力をもつようになったむらの指導者のことを何と呼びますか。

1. 大名 2. 豪族 3. 武士 4. 貴族

問7 弥生時代の集落には、なぜ「堀（ほり）」や「さく」が作られるようになったのでしょうか。

1. 米づくりをするための道具をしまうため 2. 神様にお祈りをするための祭壇を作るため 3. 雨風をしのいで住居を長持ちさせるため 4. 他の集落との争いから村を守るため

問8 弥生時代に、稲の穂を摘み取って収穫するために使われていた石で作られた道具を何といいますか。

1. 石鏃 2. 打製石斧 3. 磨製石斧 4. 石包丁

問9 弥生時代の暮らしについて、正しく説明しているものはどれですか。

1. 土器は厚手で装飾が激しい縄文土器を使っていた 2. 大陸から伝わった米づくりの技術が広まった 3. 狩りや採集が中心で、お米を作ることとはなかった 4. 集落のまわりに堀やさくを作る必要は全くなかった

問10 金属器のうち、銅鐸や銅ほこななどの青銅器は、当時どのような目的で使われたと考えられていますか。

1. 豊作を祈るため 2. 家を建てるため 3. 食べ物を煮るため 4. 衣服をぬうため

問11 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何か。

1. 日本書紀 2. 源氏物語 3. 古今和歌集 4. 万葉集

問12 聖徳太子が仏教を信仰し、国を平和にしようとして奈良県に建てた、世界最古の木造建築物がある寺はどこですか。

1. 四天王寺 2. 東大寺 3. 法隆寺 4. 唐招提寺

問13 中大兄皇子らが大化の改新を始めたのは、どのような国づくりを目指すためですか。

1. 貴族を中心とする国づくり 2. 天皇を中心とする国づくり 3. 豪族を中心とする国づくり 4. 武士を中心とする国づくり

問14 奈良時代の農民が、都から遠く離れた場所へ兵士として送られたり、土木工事にかり出されたりしたのはなぜですか。

1. 貴族よりも高い給料がもらえたから 2. 農民が自分の意思で希望したから 3. 農業以外の技術を身につけるため 4. 国から決められた義務として働く必要があったから

問15 3世紀の前半に、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国はどこですか。

1. 奴国 2. 大和国 3. 狗奴国 4. 邪馬台国

問16 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送ったことによって授けられたものは何ですか。

1. 鉄製の武器やよろい 2. 漢字や暦の教科書 3. 仏像や仏教の経典 4. 倭王の称号や金印

問17 743年に、聖武天皇が仏教の力で国を守るためにつくることを命じた、大きな仏像は何ですか。

1. 東大寺の大仏 2. 唐招提寺の鑑真像 3. 法隆寺の釈迦三尊像 4. 薬師寺の薬師三尊像

問18 佐賀県にある、弥生時代後半の代表的な遺跡はどれですか。

1. 岩宿遺跡 2. 吉野ヶ里遺跡 3. 登呂遺跡 4. 三内丸山遺跡

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 2 行基	行基は民衆から深く信頼されていた僧侶です。聖武天皇が奈良に大仏をつくろうとしたとき、行基が呼びかけたことで、多くの民衆が労働力として大仏づくりに参加しました。なお、鑑真は日本に正式な戒律を伝えるために中国から来日した人物です。
問2	答え 2 大和絵	平安時代の貴族のやしきで、びょうぶやふすまに日本の自然を題材にしてえがかれた絵を大和絵といいます。
問3	答え 4 仏教の力で国を安定させるため	聖武天皇は、当時の社会が不安定で人々の不安が大きかったことから、仏教の力によって国全体を平和で安定した状態にしようと考えました。そのため、日本各地の「国」ごとに国分寺というお寺を建てることを命じ、仏教を通じた国づくりを進めました。
問4	答え 3 三内丸山遺跡	青森県にある三内丸山遺跡では、縄文時代の建物の跡がたくさん発見されました。
問5	答え 3 中国の文化や学問、政治のしくみを取り入れるため	遣隋使は、当時の中国（隋）の進んだ文化や学問、政治のしくみを日本に学んで取り入れるために送られました。
問6	答え 2 豪族	土地や用水をめぐる争いを通じて、むらをまとめ、強い力をもつようになった指導者を豪族と呼びます。
問7	答え 4 他の集落との争いから村を守るため	米づくりが始まり、食料を蓄えるようになると、豊かな村を狙って他の集落との争いが起こるようになりました。そのため、大切な食料や人々を守るために、集落のまわりに深い溝である「堀」を掘ったり、「さく」を立てたりして防御するようになったと考えられています。
問8	答え 4 石包丁	稲の穂を茎から切り取って収穫するための道具です。稲の穂を傷つけないように、平らな石に穴を開けてひもを通し、指にはさんで使われていました。他の選択肢の斧は木を切ったり土を掘ったりする道具、石鍬は矢じりとして使われていました。
問9	答え 2 大陸から伝わった米づくりの技術が広まった	大陸から伝わった米づくりの技術が日本に広まり、人々の生活が大きく変わったのが弥生時代です。これに伴い、薄くて硬い「弥生土器」が使われるようになりました。狩りや採集が中心だった縄文時代とは異なり、食料を蓄えるようになったことで、集落を守るための「堀」や「さく」が作られるようになったのが特徴です。
問10	答え 1 豊作を祈るため	銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、豊作を祈るための祭りなどで使われたと考えられています。
問11	答え 4 万葉集	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古（最も古い）の和歌集です。
問12	答え 3 法隆寺	聖徳太子が奈良県に建てた法隆寺には、世界で最も古い木造の建物が残されています。
問13	答え 2 天皇を中心とする国づくり	大化の改新は、一部の豪族ではなく、天皇を中心とした国づくりを進めるために始められた改革です。
問14	答え 4 国から決められた義務として働く必要があったから	当時の農民は、自分の土地で農業を行うことに加えて、国に対して決まった義務を果たすことが強く求められていました。そのため、都の建設や寺院の建立、辺境の守りなどの大変な仕事も、国からの命令があれば逆らうことなく従わなければなりませんでした。
問15	答え 4 邪馬台国	3世紀の前半に、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国は邪馬台国です。
問16	答え 4 倭王の称号や金印	卑弥呼は中国の魏に使いを送り、交流の証しとして倭王の称号や金印などを授けられました。
問17	答え 1 東大寺の大仏	743年に聖武天皇の命令によってつくられた、仏教の力で国を守るための大きな仏像は、東大寺の大仏です。
問18	答え 2 吉野ヶ里遺跡	佐賀県にある吉野ヶ里遺跡は、弥生時代後半の様子を今に伝える代表的な遺跡です。